

問1 源頼朝が鎌倉幕府を開き、その後に北条氏による執権政治が続いた日本の歴史において、一度幕府が滅亡し、足利尊氏が京都で新たな幕府を開くまでの間に一時的に行われた政治体制について、その中心人物と名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 奈良公立入試 類似)

1. 後醍醐天皇 — 建武の新政 2. 白河上皇 — 院政 3. 藤原道長 — 摂関政治 4. 徳川家康 — 江戸幕府

問2 近畿地方にある歴史的な都市の立地と、そこでの自治の様子について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

1. 大阪湾に面した堺では、有力な商人が会合衆を結成し、自分たちの力で町を治めた。 2. 内陸に位置する京都では、町衆と呼ばれる人々が、常に幕府の強力な管理下で商業活動に限定して活動した。 3. 伊勢湾に面した津では、町衆が中心となって日明貿易を独占し、独自の貨幣を発行した。 4. 瀬戸内海に面した兵庫では、惣村と呼ばれる農民の組織が、港の全権を握り自治を行った。

問3 室町時代、九州北部に位置し、明や琉球、さらには東南アジア諸国との貿易において、日本側の重要な玄関口となった港町はどこか。 (2025年 秋田公立入試 類似)

1. 博多 2. 堺 3. 坊津 4. 兵庫

問4 中世の経済活動について述べた次の文のうち、当時の状況を正しく説明しているものはどれか。大陸との貿易によって流入した貨幣の状況を含めて答えなさい。 (2023年 栃木県公立入試 類似)

1. 皇宋通宝などの宋銭が大陸から輸入され、国内の取引で広く流通した。 2. 貨幣の使用が全面的に禁止され、米や布を用いた物々交換のみが行われた。 3. 日本独自の貨幣が大量に製造され、大陸への輸出が主な産業となった。 4. 地頭がすべての市場を独占したため、寺社の門前での商業活動は衰退した。

問5 1333年に足利尊氏や新田義貞らの協力によって鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇が「公家も武士もいない、天皇中心の政治」を目指して始めた新しい政治体制を何と呼びますか。 (2023年 香川公立入試 類似)

1. 院政 2. 建武の新政 3. 大政奉還 4. 明治維新

問6 室町時代、中国の明との間で正式な国交を樹立し、日明貿易を開始した人物は誰ですか。この貿易によって大量の銅銭が日本に持ち込まれ、国内の貨幣経済が発展する契機となりました。 (2019年 秋田県公立入試 類似)

1. 足利義満 2. 平清盛 3. 北条時宗 4. 豊臣秀吉

問7 京都の祇園祭は、室町時代に起きた「応仁の乱」の後、ある人々によって復興されました。その背景や当時の状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄公立入試 類似)

1. 有力な商工業者である町衆が、自治組織としての結束を強め、自らの力と経済力で祭礼を再開させた。 2. 室町幕府の将軍が、戦乱で失われた幕府の権威を取り戻すため、全国の守護大名を招集して盛大に開催させた。 3. 土一揆や徳政一揆を繰り返していた農民たちが、幕府に要求を通すための集会の場として山鉾巡行を利用した。 4. 東北地方のねぶた祭の影響を受けた京都の住民が、外来の文化を取り入れることで町に活気を取り戻そうとした。

問8 1428年に近江の馬借の蜂起から始まった「正長の土一揆」において、農民たちが土倉や酒屋を襲撃した主な目的と、その際に掲げた要求として正しい説明はどれですか。 (2020年 島根公立入試 類似)

1. 特権的な商工業者の団体である「座」を解散させ、自由な取引を行うことを求めた。 2. 凶作や重税に苦しむ状況下で、借金の帳消しを意味する「徳政」の実施を求めた。 3. 幕府から営業の独占権を得るため、自分たちを「株仲間」として認めるよう求めた。 4. 年貢を銭で納める「代銭納」を拒否し、現物の米で納める権利の復活を求めた。

問9 中世の北陸地方に位置する加賀国（現在の石川県）では、浄土真宗の信仰で結びついた農民や地侍らが団結し、守護大名を倒して約100年にわたる自治を実現しました。この出来事を何と呼びますか。 (2018年 長野県公立入試 類似)

1. 一向一揆 2. 土一揆 3. 国一揆 4. 島原・天草一揆

答え合わせ・解説

問1	答え 1 後醍醐天皇 — 建武の新政	源氏による幕府、北条氏による執権政治という武家政権の流れが一時的に途切れた際、政治の実権を取り戻したのが後醍醐天皇です。彼は公家を重用した建武の新政を行いました。土地の権利をめぐる混乱などから武士の支持を失い、後に足利尊氏によって京都を追われることとなります。
問2	答え 1 大阪湾に面した堺では、有力な商人が会合衆を結成し、自分たちの力で町を治めた。	中世の都市において、地理的条件と自治の形態は密接に関わっています。大阪湾の要所に位置する堺は、交通の利便性を活かして貿易で発展し、その経済力を背景に会合衆が独立性の高い自治を実現しました。これに対し京都の町衆は、幕府の膝元にありながらも、戦乱の混乱期には自警的な自治を行いました。津や兵庫も交通の要所でしたが、会合衆による自治といえば堺、町衆による自治といえば京都が代表的な例です。
問3	答え 1 博多	九州北部の沿岸に位置するこの都市は、地理的に大陸に近いので、古くから外交や貿易の窓口として機能した。室町時代には日明貿易（勘合貿易）の主要な拠点となり、大内氏などの守護大名や有力な商人の保護を受けて、国際的な商業都市として繁栄した。
問4	答え 1 皇宋通宝などの宋銭が大陸から輸入され、国内の取引で広く流通した。	鎌倉時代から室町時代にかけては、農業生産力の向上に伴い、余剰産品を交換する定期市が活発になりました。この経済発展を支えたのが、中国（宋）から輸入された宋銭などの貨幣です。当時の日本では自前の貨幣製造が衰退していたため、大陸からの輸入貨幣が決済手段として定着し、貨幣経済が地方にまで浸透していきました。
問5	答え 2 建武の新政	鎌倉幕府を倒した後に始まったこの政治は、天皇が自ら政治を行う「親政」を理想としていました。しかし、これまでの武家社会の慣習を無視した急進的な改革だったため、混乱を招くことになりました。
問6	答え 1 足利義満	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、明の皇帝から「日本国王」の称号を授かり、公式な貿易を開始しました。当時、日本国内では貨幣が製造されていなかったため、明から輸入された明銭（永楽通宝など）が、国内の商業取引において主要な通貨として流通しました。選択肢にある平清盛は平安時代末期に日宋貿易を推進した人物であり、時代が異なります。
問7	答え 1 有力な商工業者である町衆が、自治組織としての結束を強め、自らの力と経済力で祭礼を再開させた。	応仁の乱後、京都の商工業者は「町衆」と呼ばれる自治的な集団を形成しました。彼らは幕府や社社の支配に頼るのではなく、自分たちの町を守り、文化を維持する高い自治意識を持っていました。その象徴が祇園祭の復興であり、華やかな山鉦巡行は町衆の経済力と団結力を示す行事としての側面を持っていました。なお、ねぶた祭やだんじり祭は祇園祭の復興とは直接の関係はありません。
問8	答え 2 凶作や重税に苦しむ状況下で、借金の帳消しを意味する「徳政」の実施を求めた。	室町時代中期になると、貨幣経済の浸透により農民の生活は苦しくなり、土倉や酒屋から多額の借金をする者が増えました。1428年の正長の土一揆では、農民たちが「徳政」を叫び、借金の証文を破棄したり質物を取り戻したりしました。この動きは、幕府に債務免除の命令（徳政令）を出させることを目的としたものでした。
問9	答え 1 一向一揆	浄土真宗（一向宗）の門徒たちが起こした抵抗運動を「一向一揆」と呼びます。特に加賀の一向一揆は、守護の富樫氏を自害に追い込み、自分たちの手による政治を長期間維持したことで知られています。